

平成25年第3回千代田町議会臨時会会議録目次

○招集告示	1
○応招・不応招議員	2

第1日 10月21日（月曜日）

○議事日程	3
○出席議員	3
○欠席議員	3
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	3
○職務のため出席した者の職氏名	4

開 会（午前 9時00分）

○開会の宣告	5
○諸般の報告	5
○会議録署名議員の指名	5
○会期の決定	5
○同意第10号の上程、説明、質疑、討論、採決	5
○議案第45号の上程、説明、質疑、討論、採決	21
○町長挨拶	22
○閉会の宣告	23

閉 会（午前10時13分）

23

平成25年第3回千代田町議会臨時会を次のとおり招集する。

平成25年10月15日

千代田町長 大谷直之

1. 期 日 平成25年10月21日
2. 場 所 千代田町議会議場
3. 付議事件
 - (1) 千代田町名誉町民の推挙につき同意を求めることについて
 - (2) 平成25年度千代田町一般会計補正予算(第5号)

○ 応 招 ・ 不 応 招 議 員

○ 応 招 議 員 (1 2 名)

1 番	野 村	智 一	君	2 番	高 橋	祐 二	君
3 番	坂 部	敏 夫	君	4 番	襟 川	仁 志	君
5 番	金 子	孝 之	君	6 番	福 田	正 司	君
7 番	小 林	正 明	君	8 番	柿 沼	英 己	君
9 番	富 岡	芳 男	君	1 0 番	黒 澤	兵 司	君
1 1 番	青 木	國 生	君	1 2 番	細 田	芳 雄	君

○ 不 応 招 議 員 (な し)

平成25年第3回千代田町議会臨時会

議事日程（第1号）

平成25年10月21日（月）午前9時00分開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 同意第10号 千代田町名誉町民の推挙につき同意を求めることについて

日程第 4 議案第45号 平成25年度千代田町一般会計補正予算（第5号）

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

○出席議員（12名）

1番	野村智一君	2番	高橋祐二君
3番	坂部敏夫君	4番	襟川仁志君
5番	金子孝之君	6番	福田正司君
7番	小林正明君	8番	柿沼英己君
9番	富岡芳男君	10番	黒澤兵司君
11番	青木國生君	12番	細田芳雄君

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	大谷直之君
副町長	吉永勉君
教育長	中山隆二君
総務課長	川島賢君
財務課長	坂本道夫君
住民福祉課長	塩田稔君
環境保健課長	野村真澄君
経済課長	椎名信也君
建設水道課長	石橋俊昭君

会 計 管 理 者
兼 会 計 課 長
教 育 委 員 会
事 務 局 長

荒 井 和 男 君
高 橋 充 幸 君

○職務のため出席した者の職氏名

事 務 局 長
書 記
書 記

宗 川 正 樹
小 林 さ や か
大 谷 英 希

開 会 (午前 9時00分)

○開会の宣告

○議長（細田芳雄君） おはようございます。

ただいまの出席議員は12名でございます。定足数に達しておりますので、ただいまから平成25年第3回千代田町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

○諸般の報告

○議長（細田芳雄君） 日程に入るに先立ち、諸般の報告をいたします。

今臨時会に付議される案件は、町長提案の同意1件、補正予算1件であります。

続いて、例月出納検査結果報告については、平成25年度8月分が監査委員よりなされておりますので、報告いたします。

出席説明員については、今朝ほど配付しました一覧表のとおりであります。

以上で諸般の報告を終わります。

○会議録署名議員の指名

○議長（細田芳雄君） これより日程に従い議事を進めます。

日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。

今臨時会の会議録署名議員は、千代田町議会会議規則第125条の規定により、

9番 富岡 議員

11番 青木 議員

以上2名を指名いたします。

○会期の決定

○議長（細田芳雄君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今臨時会の会期は、本日1日としたいと思っております。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（細田芳雄君） ご異議なしと認めます。

よって、今臨時会の会期は本日1日と決定いたしました。

○同意第10号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（細田芳雄君） 日程第3、同意第10号 千代田町名誉町民の推挙につき同意を求めることに

ついてを議題といたします。

書記に議案を朗読させます。

[書記朗読]

○議長（細田芳雄君） 町長に提案理由の説明を求めます。

大谷町長。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） 同意第10号 千代田町名誉町民の推挙につき同意を求めることにつきまして、提案理由の説明を申し上げます。

本案は、去る9月20日にご逝去されましたジョイフルホンダ代表取締役会長故本田昌也氏を千代田町名誉町民条例第2条の規定に基づき、山屋八万雄氏、大谷典三氏、襟川幸雄氏に次ぐ第4番目の名誉町民として推挙することにつきまして、議会の同意を求めるものでございます。

ジョイフル本田の創業者であります本田昌也氏は、平成21年12月千代田町と群馬県企業局とが造成、分譲しているふれあいタウンちよだの商業施設用地に大型商業施設、ジョイフル本田千代田店を出店するという大きな決断を下していただきました。県庁において基本合意を行い、県知事に報告することができました。

そして、平成23年3月東日本大震災から4日後の3月15日東京電力による計画停電の中、声高らかに千代田店のオープンを宣言された姿が今でも目に焼きついております。

それからはや2年半、ジョイフル千代田店は町内外、そして県外からの大勢のお客様でにぎわっており、地元の雇用拡大並びに生活利便性の向上、町の活性化に大きな貢献をされております。

本田会長は生前、「私は千代田町と一緒にあって、まちづくりのお手伝いがしたい」とよく話してくれました。本田会長の功績は、町にとって何物にもかえがたい大きな貢献であると理解しております。ぜひ千代田町の名誉町民としてその業績をたたえるとともに、後生にその名前を残し、最大限の感謝の気持ちをあらわすため、町の名誉町民に推挙いたしたく、議会の皆様にご提案を申し上げるものであります。

どうかよろしくご審議の上、議会全会一致でのご同意を承りますようお願い申し上げます、提案理由の説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○議長（細田芳雄君） 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

6番、福田議員。

[6番（福田正司君）登壇]

○6番（福田正司君） それでは、同意第10号に関しまして、町長にお伺いをさせていただきたいと思っております。

本町においては、今町長からご説明あったのですが、各種の功績や功労に対して心から感謝をあら

わす、そういった榮譽をたたえるための表彰規程や条例があります。その中でも、この名誉町民の称号こそ最も権威ある称号であり、すなわち全ての町民が納得できる方に贈られる称号であるというふうに理解はしております。現に千代田町では、今お名前が出ました図書館にその名前を残す山屋八万雄氏、また長きにわたり町長として町行政のかじ取りを担い、今日の繁栄の礎を築かれた大谷典三氏、襟川幸雄氏に贈られております。この町に生まれ育ち、この町を愛し、この町のために長き間ご尽力をされたこの方たちだからこそ、町民こぞってその榮譽をたたえているのだというふうに思っております。それらを踏まえて町長にお伺いをいたします。

町長の考える名誉町民観というのはどのようなものなのか、お伺いをいたします。

また、名誉町民に贈られる名誉町民章はデザインが細かく規定をされております。もしきょうここで議決をすれば、その後発注になることになると思いますが、11月3日までで間に合いますか、お伺いをいたします。

なお、今回質問回数が限られておりますので、質問内容に沿った答弁をお願いをすることをまずもってお願いをいたします。よろしく申し上げます。

○議長（細田芳雄君） 大谷町長。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） 私の考えだけでこうやっていくというか、何かあれですけども、お答えいたします。

ジョイフル本田の会長は、千代田町に店をつくったらずっと千代田町で商売をさせていただきます。そして、まちづくりのお手伝いをさせていただきますという話をしてくれました。そのくらい千代田町に対して大切にしてくれました。愛情を持って対応して、これまでもいただいております。

私は、本田会長に大変よくしていただいたというふうに思っておりますけれども、そういうことではなくて、千代田町に対して本当に愛情を向けて一生懸命いろいろ手だてしてくれたというのですか、そういう本田会長その人の人物というのですか、私はそれに対して大変感謝しております。

この名誉町民の推挙に関して、本当に個人的な気持ちではなく町のために大きな功績が得られたという、そういう評価というところをお願いしているところでもあります。名誉町民というような町のためにご尽力をいただいた方で、町の名誉として長くその功績をたたえるものであります。叙勲でも生前叙勲でもなく、死亡叙勲という形もありますので、問題ないというふうに考えております。

名誉町民条例では、町民以外でも縁故の深い者と定めておりますので、町民以外でも問題ないというふうに理解をしております。名誉町民としての判断材料には、当然長年にわたり町のために貢献されたということは重要であります。しかしながら、今回のように短期間であっても町に対する功績が非常に大きい場合には十分該当するものと考えております。

千代田町の場合はほかの自治体と違いまして、初めから町とジョイフル本田とのつき合い方が非常に濃くて、強い信頼関係の上であります。よって、他の自治体と比較することはできないと思ってお

ります。

以上です。

○議長（細田芳雄君） 川島総務課長。

[総務課長（川島 賢君）登壇]

○総務課長（川島 賢君） 名誉町民の町章というのですか、勲章のお話でございます。

11月3日までに間に合うかということでございますが、当然間に合いません。ただ、勲章のほうは間に合わないのですが、顕彰状という表彰状みたいなものですが、それとその額のほうは間に合いますので、それをまずご同意をいただければ用意をさせていただきたいかなというふうに考えております。

○議長（細田芳雄君） 6番、福田議員。

○6番（福田正司君） 他の自治体とは違うと、まだそこまで聞いていないのですけれども、お答えもいただきました。

きょうこの場で町長の名誉町民観というのを伺ったというのは、実はさきの議会運営委員会でこの話を若干お伺いをさせていただいたときに、たしか震災のときに物が無いのにブルーシートを安く手配してくれたとか、そういったお話も伺いました。そういったことも含めて町民観を伺ったのですが、名誉町民はそういった軽いものではないかなというふうに思ったから今回お伺いさせていただいたものであります。

ほかの自治体の名誉町民賞というのですか、条例をしてみると、若干の違いはありますけれども、ほとんど同じことが条例化されております。一番多いのは、町に住所のある者、または10年以上住所があった者で、長きにわたり郷土の発展に卓絶した功績があった者というのが一般的でありまして、千代田町の条例をしてみると、これ前文だけなのですけれども、千代田町名誉町民条例では、「千代田町民又は千代田町に縁故の深い者で、公共の福祉の増進、産業経済、学術技芸等の興隆に貢献し、その功績が卓絶しており、郷土の誇りとして広く世人から尊敬される者」に贈る、こうなっています。常に現に3名の方が受賞されていますが、広く町民に尊敬され、名前と顔を誰もが知っている、そういった方でありまして、それが名誉町民の姿だというふうに思っています。

今回推薦された方については、確かに大型ホームセンターを出店してくれた、町の今後の経済活動に寄与してくれる、それはそれで感謝をするところですし、その感謝をあらわす方法というのはほかの方法もあるわけです。いろんな条例、もしくはそういった表彰規程というのがありますので、まずそちらでもいいのかというふうに思っているところでありまして、名誉町民とするのには、かなりまだ無理があるのではないかなというふうに思っているところでありまして、果たして千代田町民のどのくらいの方がこの方の顔をご存じでしょう。また、果たして千代田町民のどのくらいの方がこの方とお話をしたことがあるのでしょうか。それを町長はどのように考えているか。町民の多くは顔も見たことがない方で名誉町民でいいのかどうか、お伺いをしたいと思います。

○議長（細田芳雄君） 大谷町長。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） 確かに、福田議員さんが言ったように、多くの町民の方が本田会長の顔を見たという人は本当に少ないと思います。そういう中にありましても、今までのこの千代田町との交流というのは本当に深いものであり、いろんな面で千代田町としても、財政とかいろんなことについても、私のほうだと財政のことになりますけれども、大変気を使っていただいて、このような人というのは私も本当に巡り会って初めての人なのですからけれども、その千代田町と一緒にいいまちづくりをしたいという、そういうお話をしていただいて、全くそのような動きでやっていただいたということは非常に私だけではなく、担当としていった人もいるわけですから感動したわけであります。

このように町が、今多いときで3万人、少ないときでも1万人から1万5,000人ぐらい来るとかという話も伺っておりますけれども、町の正規で勤めている人も何人ですか、正規の人で49人、これジョイフル本田だけなのですからけれども、あとはパートの人等も当然おりますけれども、そういう方もいらっしゃるし、まして町ではもう小さい店がどんどん潰れていってしまったような中で、こう来ていただいたわけですし、そういうことも考えて、私はぜひこのような方を名誉町民にしたいなというふうに強く思っていたわけであります。どうか温かいご理解で協力していただきたい、賛成していただきたいというふうに思っております。

○議長（細田芳雄君） 6番、福田議員。

○6番（福田正司君） 私は、何も本田会長の功績に云々言うつもりではないのですが、ただ名誉町民とするにはちょっとまだ早いのではないのでしょうかということを町民の皆さんの意見を聞きながらもそう思っていることで、今お話をさせてもらっているのです。ジョイフル本田、ここで言うと大型ホームセンターというのですが、超大型ホームセンターが出店してくれた、このことに対しては本当に町の将来に明るい展望が開けたということで感謝をするところでありますし、しかしまだ千代田町に出店して2年余り、こういった状態の中で税制優遇措置の期間内でもあります。今回のようなことを検討するには時期尚早の思いがあります。

町の経済活動に寄与した、これを考えるのであれば、大手飲料水メーカーの代表者こそ先に敬意をあらわすことが筋だと思いますけれども、このことについて最後に1点だけお伺いをさせていただきます。

○議長（細田芳雄君） 大谷町長。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） お答えいたします。

飲料メーカーの人と本田会長の交流の仕方というのは、名前を上げて結構だと思うのですが、サントリーが来たのはサントリーの会長と話ししたとかそういうのではなくて来たわけなのです。この本田の会長の場合は、個人でそういう交流をとれたわけなのです。そこのところの違いはあると思

います。

それから、千代田町にそういう大手の商業施設、それがなかなか決まらなかった中、本当にこれなかなか決まらなかったのです。そういう中で、たったの2カ月ちょっとの間でそれを本田の会長が決めていただいたわけです。そういう話の中で、千代田町にできる限りのことは一緒になって応援していきたいようなお話もしていただきました。亡くなられたから、これからもそういうそれが途絶えるというようなことはないと思います。常務取締役で懇意にしている人が、全部そういう中でたまたま千代田町にも来ておりますし、これからもジョイフル本田さんとの交流は千代田町の中でもできるだけおつき合いをさせていただき、いい方向に持っていきたいというような感じでこれからもやっていただけたと思います。

今までに私はその話しかしていなかったのですけれども、千代田町と本田の会長、私を含めてですけれども、そういう行ったり来たりとか、そういうお話が来たりいろいろというのは今までにそんなにこういう例がなかったというようなことも聞いております。そういう中で町の発展のためということで、とにかく車が外で水にかかると大変だから、千代田町さんは全部車は上に屋根をつけるようなこともしますと言ったら、そんなにお金を出さなくても結構ですよと言ったのですけれども、何、やりますからということで、それからホームセンターではタイルなんかつけないというのが普通になっているのだけれども、みんなにすごいなと言われるように、これもやりますからということですごいタイルをつけました。そのくらいつけた、そういう中でも気を使っていたり、それは前言ったこととおりで、本当に一生懸命いろいろなことで協力というのですか、そういうのをしていただけだと思います。そういうことが非常にうれしかったということもありますし、ぜひご理解いただければと思います。

○議長（細田芳雄君） ほかに質疑はございませんか。

3番、坂部議員。

[3番（坂部敏夫君）登壇]

○3番（坂部敏夫君） 3番、坂部敏夫です。同意第10号、この件につきまして質問させていただきます。

質問を用意したのですが、先ほどの福田議員からの質問に対して町長から一部回答があったので、ちょっとダブるところがありますが、質問させていただきます。

千代田町の経済や税収に大きな貢献をしたサントリーがあります。ものの序列から考えれば、サントリーが先に推挙されて、それからジョイフルさんかな、こんなふうに思いますが、サントリーは個人的な経営者との話ではなくて、県との話し合いで決まったということですが、1年、2年ではなくて何十年にもわたり千代田町に貢献したわけですから、後から出てきてくれたジョイフル本田さんが先に行くと、ちょっとサントリーさんとしては心に動揺が出てくるのではないかな、こんなふうに思います。ですから、サントリーさんの扱いはどうなっていますかという質問です。

それと、こういうことで大きな企業が出てくると、相対で話をしたときには名誉町民ということになるのですが、端的な話高崎に日本一の物流量販店ヤマダ電機があります。高崎ではどんな扱いになっているでしょう。私が長くお世話になっていた東芝という会社があります。府中には、府中市東芝町1丁目1番地という番地があるくらい地域に貢献している会社なのです。そういうものについては近隣の事例ではどんなふうになっていますか、情報を持っていたらお聞かせいただければと思います。

以上、質問します。

○議長（細田芳雄君） 大谷町長。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） お答えいたします。

サントリービール、確かにうちのおやじのときに誘致できた会社であり、本当に大手の会社であり、プレミアムモルツが水に合っているというような、そういううわさも聞いております。そういう中ですけれども、ジョイフル本田がこれからどのようにまた発展していくかということも当然あるわけですし、大きい企業とすれば、これは当然サントリーのほうが格段に大きな事業をやっているわけがあります。それと比較すれば、来てまだ2年半ということでは違和感があるのではないかというふうには思いますけれども、町の発展のため、町民の幸せ、町民の皆さんも本当に喜んでいるわけですし、ほとんどあそこのところはもううちの周りでも、邑楽町でも小さい商店街はもうなくなってしまったわけですから、そういう中で一生懸命頑張って店をやっているわけですし、そこのところはぜひ温かいご理解でよろしく願いいたします。

サントリービールが特に大きいから、それでサントリーさんとの交流というのも、これはおやじのときからのあれですから、私はそのせがれですから、大変気を使っていただいております。その人のサントリーのそこでそういう顕彰をすとか何かやるかとかというのは、そのときは全然考えていませんでしたし、本田のなかなかまとまらない商業施設が、もう本当に2カ月ちょっとの間にやっていただいたということだけで感激したのが、それができる限りのことはこちらでいろいろ応援したいというようなことをその場で言うていただいで、本当に涙が出るほどうれしい思いをしたわけがあります。そして、現在もそういうことで進んでおりますので、ぜひともご理解、坂部議員お願いいたします。

○議長（細田芳雄君） 川島総務課長。

○総務課長（川島 賢君） 名誉町民の近隣の状況ということでございますが、大体市長さんとか町長で長く在職された方がほとんどだと思います。

館林等におきましては、商工会議所の会頭とか、そういう方も表彰されているようでもありますけれども、一般的には首長さんが多いと思います。多分邑楽町は上武さんだったような気もするのですが、細かいところまではちょっと調べてございませんので。あくまで町としてその方個人を名誉町民に推挙して表彰させていただくということでもありますので、ご理解いただきたいと思います。

○議長（細田芳雄君） ほかに質疑はございませんか。

4番、襟川議員。

[4番（襟川仁志君）登壇]

○4番（襟川仁志君） まずもって、ジョイフル本田の会長であります本田昌也氏に対してご冥福をお祈りしたいというふうに思います。

先ほどの福田議員、坂部議員の質問とちよっとかぶるかもしれませんが、質問させていただきたいというふうに思います。

名誉町民条例の目的の中で、「千代田町民又は千代田町に縁故の深い者で、公共の福祉の増進、産業経済、学術技芸等の興隆に貢献し、その功績が卓絶しており、郷土の誇りとして広く世人から尊敬される者に対し、千代田町名誉町民の称号を贈り」というふうにあります。産業、経済の分野において興隆に貢献しというところについてはわかります。これまでなかなか来てくれなかった商業施設用地にジョイフル本田さんが来てくれました。この件についてはわかりますけれども、その次の「功績が卓絶しており」というふうに書いてあります。功績というのは、やはり長年の実績によって出てくるものでありまして、まだ出店2年半で出てくるものではないというふうに思っています。更に、卓絶しているということは、ほかに比べものにならないほどすぐれているということでもあります。どういう功績で卓絶しているのか、質問させていただきたいと思います。

2点目、「広く世人から尊敬される」というふうにあります。本田昌也さんについては、町民の方のほとんどが名前も顔も知りません。役場の人は知っていても、町民の方が知らないというのは、この目的に当てはまらないのではないかなというふうに思います。この辺2点目です。

3点目、本田昌也さんは出身地であります茨城県小美玉市、ジョイフル本田の本社である土浦市、その他店舗のある自治体で名誉町民、名誉市民になっているのかどうか。

また、今回亡くなったことによるそういう動きがあるのかどうか、お聞きしたいと思います。

○議長（細田芳雄君） 大谷町長。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） お答えいたします。同じような答えになるかもしれませんが。

長くこういろいろな功績を上げた方、これは今までそのとおり、そういう形で叙勲されるわけですが、2年半ということで、確かに短いというのは自分でも承知しております。そういう中であって、これを上げたのは本当にこの活性ができない、まだまだ活性ができない中で一生懸命あちこち回って、それがなかなか思うようにいかなかったのが、本田さんのほうで本当に短い時間でそれを決めていただいて、とにかくうちのほうの様子がよくわからないうちに取り締役が反対した中でもやっていただいて、ヘリコプターと一緒に乗って埼玉県のほうへ行こうと。そうしたら、その日付が臨時議会の日だったので行けなかったのですけれども、ずっと回ってきたら何とかなるから大丈夫ですよというふうに、帰ってそういうお話が一番初めにありました。

これからまたますますのそういう中で、千代田町が発展していくという中で、これからも千代田町に対しまして大変有意義なことになるというふうに私自身も思っていますし、そういうやり方でこれからも本田グループの人たちもやっていただけるというふうに思っております。

この叙勲なのですけれども、いろいろな形で死亡叙勲という形だとかということもありますけれども、そういう問題はないというふうに考えておりますし、調べてもらったのですけれども。ぜひともご理解をいただいて、本当にこういう例はないかもしれませんが、どこかであるかもしれませんが、そういう中で一生懸命競合しながらいいまちづくりをやっていくということのこれからもそういう中で小さかった町がどんどん大きくなって活性していくという、そういうふうに捉えていただければありがたいと思います。話がよくできませんが、よろしくお願いします。

○議長（細田芳雄君） 川島総務課長。

○総務課長（川島 賢君） 茨城県の小美玉市、本田昌也氏の住所地の小美玉市、それからジョイフル本田の本社があります土浦市、あるいは茨城県において名誉町民等の動きはということですが、特にそういった話は聞いておりません。

ただし、本町においては町として、本田昌也氏の功績に対して非常にすばらしいものがあるということで、ほかの自治体云々は別にして、町として名誉町民に値するであろうという形で今回提案させていただいているわけでございます。

○議長（細田芳雄君） 4番、襟川議員。

○4番（襟川仁志君） 先ほど町長の答弁でありました、本田の会長さんはこの田舎の町にやってきて、千代田町のまちづくりのお手伝いをしていきたいのだというふうなお話がありました。

以前出店する前に本田会長がどこかの集まりに来たときに、そのお手伝いとはどういうことですかということで、例えば従業員の福利厚生のような施設をつくって町民に開放するとか、またジョイフル本田の店舗内にそういった塾をつくって子供たちに来てもらいたいと、そういったことで千代田町の活性化とかまちづくりにお手伝いをしていきたいというようなお話がありました。そういったことは今後どういうふうになっていくのかどうか、お聞きしたいというふうに思います。

また、先ほど町長からお話がありました、小さい店舗が潰れてしまった中で来てくれたということなのですけれども、また小さいながらもやってくれている店舗はあります。ジョイフル本田さんが来たところで売上げが半分になった、3分の1になった、死活問題だよというふうに言われる店舗の方もいらっしゃると思います。

また、西地区ではスーパーも撤退しました。お年寄りが買い物に困っています。そういった手当てとかケア、そういったものはまだできていないわけです。そういったことができて、またジョイフル本田の西地区に商店が続々とできて、ふれあいタウンの住宅も完売になったというところであれば、本田さんが来てくれてよかったなというところになるのではないのでしょうか、その辺お聞きしたいというふうに思います。

○議長（細田芳雄君） 大谷町長。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） ジョイフル本田が出店するころは、やはりフジマートさんなんかも、みんなもう潰れかかっている、一番最後が千代田町のその学校のそばだったのですけれども、明和町もなくなって、そういう時代というのですか、そういう世になってきたわけです。

余計な話かもしれませんが、私が店をやっているときはあちこちいっぱい店がありまして、私どもも一生懸命やったおかげで大変売れ行きがよかったわけですが、大泉町のほうから大きい店が出たりしたので、私も閉店しました。とてもやっていけないということで、それで花屋に切りかえていったわけなのですけれども、そういう中で確かに売れなくなって困った人という部分も出てきておりますけれども、本当に自分が一生懸命店をそういうスーパーだか何かをつくりたいというときにはそれなりの修行をして、それから一生懸命働いていい品物を安く売る。駐車場も多くしなくてはならないとか、そういうお金が非常にかかることです。実際に一生懸命やろうとしても、そういう大手があつて、いろいろなものをもっと安く、いいものを売ってしまっているというか、あちこち出ていますから、これを実際にやっていこうとなると、実際は商売はなかなか難しいというのがあります。これを町のほうでどういうふうに対応するかというのは、ちょっと検討するというので、これをでは応援しましょうということもすぐに考えられないのでいろいろ協議しますけれども、とにかく自分の仕事をやるというときに、私なんかは本当によくない中で立ち上がってきたわけですから、寝る時間も割いて一生懸命頑張って広げてきたというのが事実であります。そういう気持ちでやっていければ、それなりの利益が出るというか、店も大きく幾らかでも広げていけると思うのですけれども、非常に難しい問題だと思います。

ですからといって投げたしまえば、その人たちがほかのどういう仕事をしていいかということでおかしくなってしまって、確かにあるかもしれませんが、若いときから一生懸命こういうこと、ああいうことをやろうということで頑張っていけば必ず道は開けるといふに私は思っております。

どこのところでも、明和町でもフジマートは千代田町より先に閉店してしまったのです。だから、本当になくなってきてしまって、そういう中で今あるわけです。どこでも、それはきっといろいろ協議するか何か、そういうことはあるかもしれませんが、首長同士でそういう話もして、どういうふうにやったらいいのかということも話し合っています。今の時点では、その点についてははっきり物が言えないで済みませんが、とにかく話し合いをしています。

以上です。

○議長（細田芳雄君） 4番、襟川議員。

○4番（襟川仁志君） 町長におかれましては、質問の趣旨を読み取っていただきまして答弁していただきたいと思っております。最後の質問です。

ジョイフル本田さんは企業であります。ボランティアで来ているわけではありません。景気が悪く

なって内容が悪ければ撤退という話も出てくるかなと思いますが、そういったところでそうなった場合どういうふうにするのかお聞きしたいと思います。

それから、先ほど大谷町長が言われていましたが、大谷町長が尊敬されるお父様であります大谷典三さんはどういうふうに思っているのでしょうか。三十数年前鞍掛第二工業団地を造成し、あそこにサントリーを誘致したのは大谷典三名誉町民であります。それから、サントリーさんは千代田町に対して何十億、もしかして何百億と固定資産税を払っていただいているのではないのでしょうか。そういった町に、昨年ちょうど町が町制施行30周年、サントリーさんも30周年でありました。町と一緒に発展してきたところでもあります。そういったところを無視して、今回ジョイフル本田の会長さんを名誉町民にするということに対して、再度確認の意味で質問させていただきます。本当にこれでいいのでしょうか。

○議長（細田芳雄君） 大谷町長。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） お答えいたします。

ジョイフル本田の会長は、絶対撤退はしませんということで、土地も全て買いますということで、ちょっと金額は忘れてしまったけれども、あれ100億円ぐらいつぎ込んだ、そんなことはなかったかな。絶対最後までやり抜きますからということでお話をさせていただきました。

おやじのときの話なのですけれども、確かにそのとおりで30周年記念で盛大にやれてやってきたわけですけれども、大手企業ということで、こちらは大手の商業施設ということですが、この商業施設がもっともっと発展していくというふうに思っております。それは、道路の面だのいろいろな面で、これからも今丑起橋のところの整理をしていますけれども、あそこからも館林のほうからも随分来るようになったとかという話も聞いておりますし、これから利根川新橋の建設を進めるということで、今知事部局のほうからも一緒になってこう応援しなくてはならないということで来ておりますし、私もこの間また行ってきたのですけれども、埼玉のほうにこれからもまたあしたまた行きますけれども、そういう中でどんどん発展していければ、いけるのではないかというふうに、やらなくてはならないというふうに思っております。

とにかくこの千代田町が発展して、町民の皆様に喜んでもらえるというのが私の町長の責任でありますから、ただすぐできるかどうかというのは何とも言えませんけれども、とにかく一生懸命頑張っ

てやっていく以外にはないというふうに思っております。

言葉が本当に整っていませんけれども、そういうことです。

○議長（細田芳雄君） 先ほどの2回目の襟川議員の質問の中で、ジョイフル本田の施設を使ってクラブ、文化面とか何か、クラブをつくりたいというような、出店するときにそんな話があったというような、その辺はどういうふうになっているのでしょうかという質問があったけれども、誰かお答えはできますか。

川島総務課長。

○総務課長（川島 賢君） ジョイフルの本田会長のお話ですと、千代田町のまちづくりをお手伝いする中で、いろいろクラインガルテンとか、そういった何かのスポーツ施設とか、そういったものも将来的に必要でしょうし、いろいろ考えていきましょうねという話がありました。

ただ、会長が亡くなってしまいましたので、今後のことにつきましてはまた会社の幹部の方といろいろ相談して、何か町に対して協力していただけるようであれば、それは当然やっていただきたいというふうには考えております。

○議長（細田芳雄君） ほかに質疑はございませんか。

2番、高橋議員。

[2番（高橋祐二君）登壇]

○2番（高橋祐二君） 2番、高橋祐二です。先ほど福田議員、坂部議員、襟川議員と質問がちょっとダブってしまうかもしれないのですけれども、一言ちょっと聞きたいことがありまして、大谷町長に質問いたします。

本田会長とどんな親交があったか、どんな信頼関係があったか自分にはわかりませんが、ジョイフル本田も一企業です。千代田町出店に当たって、自分の会社の利益が出るか出ないか、それが大きな出店理由だと思います。ジョイフル本田自身、出店に当たって利益が、採算がとれる、そんな思いで出店したのではないかと思います。一般企業としては、やはり利益優先、幾ら町長と仲よしだから、大谷町長と仲よしだからといって、そんな簡単に出店する理由ではないと思います。土地も安く、わざと本当に安く買ったらしいのですけれども、そんな部分でやっぱりさっき襟川議員もお話ししました企業として将来10年先、20年先赤字でどうにもならないとなったときは、それでも続けるという、大谷町長と約束していたという、会長が約束していたということなのですけれども、それってあり得ないと自分自身思います。

ですから、これもここだけでももうすぐ決めるのではなくて、実際名誉町民としたときに町民がどういうふうに思うのか。100%とも言いませんが、8割、9割の方はみんな賛成だと言うのかどうか、その辺も踏まえて判断していただきたい、決定していただきたいと思います。以上です。

済みません。先ほども言いましたように飲料メーカー、30年にわたる町に大きな貢献をしてきたと思いますが、そちらのほうの町民栄誉賞、名誉町民ですか、その辺はどのように考えているのか。

また、ジョイフル本田の西側の商業施設、またこれも大きな、もしそういう企業が来たらその企業も名誉町民になるのか、その辺お考えをお聞きしたいと思います。

○議長（細田芳雄君） 大谷町長。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） お答えいたします。

私との信頼関係ということですが、私見たとおりの魚屋上がりですし、テキ屋の商売の花屋

をやっていたわけですから、ちゃんとしたい話ができるわけではないので、自分で思ったとおりの話を一生懸命お願いしたということです。その話を聞いていただいたのが、何か自分から見て、あれ、それでそういうタイプの人というのが逆に気に入ったというような雰囲気にはとれたのですけれども、とにかくそんなにいい話ができるような状態ではなかったのですけれども、すぐ決まったわけなのですけれども、そういう中でこういうふうに来てきたわけなのですけれども、これが将来何年かたって倒産するとか、確かにそういうことあるかもしれませんが、今までのジョイフル本田15店舗で、今度は16店舗つくるといようなうわさも出ていますけれども、どこでもすばらしい発展でやっております。千代田町も埼玉県から68%のお買い物に来ている人がいるということで、埼玉県からかなり多く来ています。

それから、最近足利のほうからも随分来ているといううわさも聞いておりますけれども、これからどうなるかというのは確かに神様ではないのでわかりませんが、このままどんどん発展していけるのではないかとこのように自分自身は思っております。

それから、サントリーと色々な企業とかいろいろ上がってきて、それをまた同じようにやるかという、私自身は本田の会長というのが、特に千代田町にできる限りのことはしたいとか、もう真っ先にそういう話をしていただいたということがとてもうれしかったわけです。実際に、その後もいろいろ気を使っていただいて、細かい話はあれですけれども、本当に千代田町に貢献してやっていきたいということをこれまでもやってきていただいております。ぜひそういうところをご理解いただいて、今度の千代田町の名誉町民というのですか、それにご理解いただければと、そういうふうに願っております。

○議長（細田芳雄君） 2番、高橋議員。

○2番（高橋祐二君） 今までお話を聞いていると、何か大谷町長と本田会長だけの友達というか、それだけの話のような話が伝わってきます。町を含めて補正を組むような話、会議ではないと思います。もしよかったら町長のポケットマネーでそういう賞を贈ったらどうでしょうか。

○議長（細田芳雄君） 大谷町長。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） 2人だけという話ですけれども、総務課長を初めいろんな人たち、初め一緒になって行っているわけなのです。そういう中でやっているのですが、自分のお金で出していただきたいというのは、あれにはちょっと俺はわからないのだけれども、自分が出すということは……そういうのではない。

[[「だめだよ」と言う人あり]

○町長（大谷直之君） だめ。何て言ったらいいか、とにかく2人の関係とかそういうのではなくて、気を使っていただいて千代田町のために頑張りたいということでやってきているので、その点をご理解をお願いいたします。

○議長（細田芳雄君） ほかに質疑はございませんか。

[「なし」と言う人あり]

○議長（細田芳雄君） 質疑を終結いたします。

討論に入ります。

最初に、反対討論はありませんか。

6番、福田議員。

[6番（福田正司君）登壇]

○6番（福田正司君） それでは、同意第10号に対しまして反対の立場から討論を申し上げます。

名誉町民とは、町民の多くの皆さんが納得していただける方でなくてはなりません。とても今回の事案では、町民の皆さんに理解していただけないと思っております。

その理由には、大型ホームセンターが出店して、まだ税制優遇措置も終わっていないこの状況であります。対象者についても千代田町とのかかわりはまだ三、四年ほどだと思えます。千代田町の条例でも、「千代田町民又は千代田町に縁故の深い者」で、「広く世人から尊敬される者」というふうに書いてございます。今後5年、10年が経過し、このことにより結果として千代田町の経済活動に顕著な功績が生まれたということであれば、そのときに検討するのが筋だと思えます。今の段階で条例どおり、産業経済の興隆に貢献したというのは時期尚早であると思えます。

長年まちづくりに大きな貢献をしてくれている、先ほどから多くの方から話がありました大手飲料水メーカーの代表者の方が検討されていないという実情を考へても、町民皆様の理解を得ることはできないというふうに思っております。感謝をあらわすのには別の表彰を検討することとしても、名誉町民とすることに反対であります。議員皆様のご賛同をお願いして、反対討論といたします。

○議長（細田芳雄君） ほかに討論はございませんか。

5番、金子議員。

[「賛成でいいんですか」と言う人あり]

○議長（細田芳雄君） 賛成。

[5番（金子孝之君）登壇]

○5番（金子孝之君） 同意第10号について賛成の立場で討論いたします。

今やジョイフル本田千代田店がそこにあるのは当然のように町民も思っております。思い起こせばジョイフル本田が千代田町へ出店する際、会長である本田昌也氏の強力なリーダーシップがあったことは私達も聞き及んでおり、人口が1万2,000人弱の町に出店を決断されたことに感謝を申し上げる次第でございます。ジョイフル本田の出店が決まり、千葉ニュータウン店への視察に伺った折、本田会長のお話を直接お聞きする機会を得ました。大変気さくでアイデアあふれるお話だったと記憶しております。その中で、千代田町は何もないところだ。だから、私たちが行って将来にわたりまちづくりに協力したいと、そういうお話があったことが印象に残っております。

確かに、ジョイフル本田の出店がなければ近商地域に用途変更した土地は今でも雑草が繁茂していたかもしれません。町の雰囲気も停滞していたと思います。ところが、今ジョイフル本田の周りに小さいながらも店舗が出店し、今度は何ができるのだろうと町民が期待している状況であります。これもジョイフル本田の集客力によるものと考えます。平日でも約1万人、土日には約3万人が訪れるとのことであります。この人の流れ、これが今後の町の発展につながる大きな要因であることは間違いありません。ジョイフル本田の出店による、この大きな変化を生み出していただいた本田昌也会長は本町にとって大きな貢献をしていただいたと考えます。5年後、10年後の千代田町を見ていただき感想をお聞きしたいと思っておりましたが、9月20日ご逝去なされたとのことで残念でなりません。ここにご冥福をお祈り申し上げ、賛成討論といたします。議員諸兄のご賛同をお願いいたします。

○議長（細田芳雄君） ほかに討論はございませんか。

8番、柿沼議員。

[8番（柿沼英己君）登壇]

○8番（柿沼英己君） 賛成の立場から討論いたします。

今回議論の中で名誉町民条例及び、それに関連するルールの不備、そういったことが指摘されたわけですが、これについては今後の議論を待つことが大切だと思います。今回上程された以上、千代田町の対外的な信頼関係を大切にしないといけない点を考慮しなくてはならないと思います。

先ほど金子議員が申し上げましたとおり、千代田町の発展のエンジンをつくってくれた、そういったことを考慮することが大切であるというふうに思いまして、賛成討論といたします。

○議長（細田芳雄君） ほかに討論はございませんか。

3番、坂部議員。

[3番（坂部敏夫君）登壇]

○3番（坂部敏夫君） 議席番号3番、坂部敏夫。同意第10号に対する賛成の立場で討論を申し上げます。

あの木何の木気になる木、非常に千代田町にとっては大きな金のなる木を植えてくれたのが本田昌也会長であると、このように私は判断しております。我が町は国道、高速道路、鉄道もなく、人口も約1万2,000弱です。商業施設が繁栄する条件としては、人口の大小というのが絶対的な条件だと思うのです。茨城、栃木、埼玉、東京ですか、そういうところへ15店舗ああいう大きな店をつくった商人と言うと言いがちょっと悪いのですけれども、であればそういう打算的なことについては経営戦略をしっかりと考えて出店してくれたのだと思います。ですが、交通インフラが整備されていれば近隣の市、あるいは町からの顧客流入、これは大いに考えられます。けれども、先ほど申し上げたような交通事情で大型ショッピングセンターの経営を継続、維持するには余りにも心細い環境だと言えるでしょう。短兵急に利益を追求し、企業として利益を求めて採算を考えるなら、千代田町を選ばずとも条件のいい場所というのはほかに幾らでもあったと考えられます。

では、なぜ千代田町に出店されたか、これを考えてみました。私の研究では、本田会長の千代田町に対するとてつもなく大きな思いやりと言いますか、日本国の国土開発、みんながいい子になるように、大都市のようにいい子になれるように千代田町に早く頑張ってもらいたい。そのための礎となりたい。それで、ああいう大きな店をつくってくれたのだと思うのです。

ジョイフル本田が出店すれば大きな雇用の創出が発生します。1年に1度しか売れないような商品も品揃えをしてお客様に対する利便性の徹底、これをするのだというふうに店員の方がおっしゃっています。そのようにしてお客様に便利さを提供しようという基本理念があるわけです。これは、恐らく同族会社のワンマン社長、ワンマン経営者だからそういう判断ができたと思うのですが、合議制の団体、あるいは株式会社で株主総会に諮ってなんて言っていたら、まずこういう実現はなかったと思います。そこに本田昌也会長の大きなお心、これを見出す、そんなふうに思っております。

千代田町は、決して大きな町ではありません。だけれども、人々が住んでみたい、住みたくなるような気持ちになっていただきたい。そのための礎、これが繰り返しますが、本田会長の根底にあったのだと思います。千代田町の活性化のために、千代田町の繁栄のために企業収益は後回しになってもと考えて大英断をしたのだと思うのです。これは、多分そろばん勘定あったと思います。千葉ですとか東京とか大きな都市に店舗を営んでいるので、恐らくそちらでの収益がいいのでしょう。ですから、多少千代田町がマイナス、マネーフローが仮に悪くなったとしても、全体の連結決算で何とかなる、そういう大英断、決断を下したのではなかろうかと、このように私は思っています。

宗教を理論で説く方を上人様と言います。石の上にも三年とか、千日回峰行だとか、あるいは命をかけて即身成仏、こういうことを目指すのは行者様で行人様と、こういうふうに言うそうです。ですから、本田会長をそれに例えて拝見するならば、私は行者様ではなかろうかと思えます。自分が犠牲になっても、しばらくの間水、空気だけ吸っていけば何とかなるだろう。そのためには千代田町に早くいい子になってもらいたい。よその町に負けないような活力のある町になってもらいたい。そのためには、便利なショッピングセンター、大型のショッピングセンターをつくることも大きな手助けになるのではなかろうかと、このように決断されたのだと思います。

私は、そもそもがつがつしていますから、まず先に金とか、先に損益とか考えるたちなのです。ですが、私の仕えたとある企業の経営者はそうではなかったのです。やはり銭金ではなくて社会の役に立つ仕事をやろうではないかと、そういうようなことを常々おっしゃっていました。それと、同じような考えが本田会長にあったのではなかろうかと、このように思っています。

ですから、活性化とか豊かなまちづくりをなんていうかけ声は日本中から聞こえてきますけれども、では誰が活性化の具体的なトリガー、引き金を引いてくれるのですか、そういう対応をしてくれるのですか。考えみれば、恐らく2年たっても3年たってもなかったと思います。本田会長が大英断をして出てきてくれたから、あと何年か待てば税収も上がるでしょう。そういうことで、このようにしゃべり出すと切りがなくなってしまうので、このような恩人に感謝の気持ちを贈らせていただくことは

至極当然なことだと思ひまして、名誉町民の称号をお贈りしたいと思ひます。皆様のご賛同をお願い申し上げます。

以上です。

○議長（細田芳雄君） 7番、小林議員。

[7番（小林正明君）登壇]

○7番（小林正明君） 同意第10号 千代田町名誉町民の推挙につき同意を求めることについて、賛成の立場で討論させていただきます。

トップ・トゥ・トップの相互信頼のもとで千代田町の出店が決定されました。個人対個人、これは考えるものありますが、いろいろ皆様の意見を聞きますと納得できるところでございます。町においても現在から将来の税収アップ、経済の活性化、雇用の面からも大きな期待が持てるものとする次第であります。

また、ジョイフル本田、千代田町双方の相互信頼と連携を深めてより一層共存共栄、ウインウインの将来を構築するべきと考え、賛成討論といたします。議員諸兄のご賛同をよろしくお願い申し上げます。

以上、よろしく願いいたします。

○議長（細田芳雄君） ほかに討論はございませんか。

[「なし」と言う人あり]

○議長（細田芳雄君） 討論を終結いたします。

採決いたします。

同意第10号 千代田町名誉町民の推挙につき同意を求めることについて、原案どおり同意することに賛成の方の起立を求めます。

[起立多数]

○議長（細田芳雄君） 起立多数であります。

よって、同意第10号は原案どおり同意することに決定いたしました。

○議案第45号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（細田芳雄君） 日程第4、議案第45号 平成25年度千代田町一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

書記に議案を朗読させます。

[書記朗読]

○議長（細田芳雄君） 町長に提案理由の説明を求めます。

大谷町長。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） 議案第45号 平成25年度千代田町一般会計補正予算（第5号）につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ51万5,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ48億2,046万5,000円とするものであります。

補正の内容につきましては、先ほど同意をいただきました本田昌也氏に係る名誉町民の顕彰をさせていただきますものではありますが、9ページにありますように名誉町民記念品代としまして勲章のようなもので町民章というものがあまして、これの費用並びに顕彰状の額代等であります。また、印刷製本費は顕彰状の印刷代であります。

財源につきましては、財政調整基金を取り崩し充当するものであります。よろしくご理解の上、ご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

○議長（細田芳雄君） 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

[「なし」と言う人あり]

○議長（細田芳雄君） 質疑を終結いたします。

討論に入ります。

最初に、反対討論はありませんか。

[「なし」と言う人あり]

○議長（細田芳雄君） 討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第45号 平成25年度千代田町一般会計補正予算（第5号）について、原案どおり決することに賛成の方の起立を求めます。

[起立多数]

○議長（細田芳雄君） 起立多数であります。

よって、議案第45号は原案どおり可決されました。

以上で、今臨時会に付議された案件はすべて議了いたしました。

○町長挨拶

○議長（細田芳雄君） 町長に発言を求められておりますので、これを許します。

[町長（大谷直之君）登壇]

○町長（大谷直之君） 平成25年第3回議会臨時会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

このたび臨時会では、名誉町民の同意、またそれに伴います補正予算につきましてご承認をいただき、誠にありがとうございました。

先ほど提案理由の際にもお話をさせていただきましたが、私にとってジョイフル本田の本田昌也会長がおっしゃっていた、一緒にまちづくりのお手伝いがしたいという言葉が非常に印象的であり、ありがたいものでありました。

東日本大震災発生直後のオープン以来2年半が経過したジョイフル本田千代田店は現在大勢のお客様でにぎわいを見せており、またその周辺には複数の飲食店や携帯電話販売店などが出店するなど、着実に町の活性化につながっていると思っております。

今後につきましても、ふれあいタウンちよだ内の新たな商業施設の誘致を進めていく中で、本田会長の思い出を胸に活力あるまちづくりを進めてまいる所存でありますので、議員の皆様には特段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、朝晩日ごとに冷え込んでまいりましたが、議員各位におかれましてはくれぐれも健康にご留意いただき、引き続き本町発展のためにご活躍をいただきますようご祈念申し上げまして、閉会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。きょうはどうもありがとうございました。

○閉会の宣告

○議長（細田芳雄君） 以上をもちまして平成25年第3回千代田町議会臨時会を閉会いたします。
大変ご苦労さまでした。

閉 会 （午前10時13分）

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを確認し、ここに署名する。

平成25年 月 日

千代田町議会議長 細 田 芳 雄

①署名議員 富 岡 芳 男

②署名議員 青 木 國 生